

Wilhelm von Humboldt and the World of Languages



イアン・F・マクニーリー氏
講演会



各国で絶賛を博したイアン・マクニーリー氏の著書『知はいかにして「再発明」されたか』では、西洋の伝統において知を体系立ててきた6つの重要な機構や制度が分析されています。それらの機構・制度は社会が根底から変化する新時代の曙に形成され、知を構成する要素とは何であるのかを定義しなおし、知の生産・蓄積・継承のあり方を再組織化してきました。今回の立命館大学国際言語文化研究所の招待講演では、マクニーリー教授の新たな研究対象であるヴィルヘルム・フォン・フンボルトを中心に、言語のグローバル・ヒストリーについてお話していただきます。フンボルトは、世界中にはりめぐらされたキリスト教の伝道使節や植民地官僚の通信網を用いて世界各地の言語の実証的かつ理論的な究明に取り組んだ、はじめての学者です。

マクニーリー教授の新たな研究は、フンボルトの時代に定説とされた言語や文化にかかわる思想を再構築することを目的としています。そして同時に、『知はいかにして「再発明」されたか』で「学知の共和国」として描かれたフンボルトの時代の知のあり方から、アカデミックな専門領域という現在主流を占めている知的制度への移行期に、世界についての知識がどのように生み出されたのかを明らかにする取り組みでもあるのです。

主催●立命館大学国際言語文化研究所

共催●株式会社 日経BP

使用言語●英語(通訳あり)

連絡先●立命館大学国際言語文化研究所

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:(075)465-8164

Email: genbun@st.ritsumeikai.ac.jp

URL: http://www.ritsumeikai.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm

アクセス

- JR・近鉄 京都駅より 市バス50・205
- JR 円町駅より 市バス15・204・205
- 阪急電車 西院駅より 市バス205
- 阪急電車 大宮駅より 市バス55
- 地下鉄 西大路池田駅より 市バス205
- 京阪電車 三条駅より 市バス15・59
- 市バス15・50・55・59にて「立命館大学前」下車/徒歩5分
- 市バス204・205にて「衣笠駅前」下車/徒歩10分 東門

事前申込不要・参加費不要